



斐川東中だより



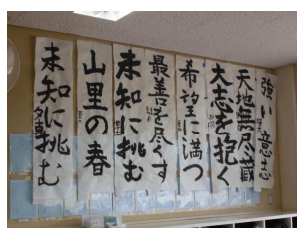
令和7年2月14日

出雲市立斐川東中学校

文責：安達直幸

先週は全国的に強い冬型の気候でした。週末には積雪もありましたが、大きな混乱もなく過ごせましたでしょうか。3学期が始まってすでに1ヶ月以上が過ぎ、あと3週間で卒業式を迎えます。3年生の多くは、まもなく行われる公立高校入試に向かって最後の準備をしています。人生の通過点とはいえ、今後の3年間を決める大切な試験となりますので、体調管理をしっかりと行ってください。

書き初め展示



冬休みの課題として「書き初め」がありました。3学期の始まりには、各教室に書き初めがきれいに展示されました。どの文字を書くのか迷った人もいたと思います。何度も練習をして作品を仕上げた人もいたと思います。並べて展示すると、清々しい気分になります。数日の展示期間に、校内審査を行いました。選ばれた作品は、県書き初め展に出品しています。

不審者対応避難訓練



3学期の避難訓練は、出雲警察署や子ども安全センター指導員の方にお越しいただき、「不審者対応」の訓練を行いました。今回は、教職員の対応の仕方を確認すること、生徒が教室でどのように避難行動をとればよいかを目的としました。訓練が始まると、不審者が強引に校内に侵入してきたという想定で、不審者に複数の教職員で対応しました。その後、通報の仕方やタイミング、生徒への指示の出し方などについて、実践を通して学びました。生徒の命を守るために毅然とした態度をとること、身の安全に注意すること、起きている状況を具体的に知らせること等、教職員がやるべきことを、警察の方から具体的に指導していただきました。教室では、生徒と教員が協力して、机や椅子を使って侵入されにくいようにバリケードを作り、放送の指示に従って待機しました。訓練後には、警察署の方から指導講評をしていただきました。本校では、不審者事案はありませんが、いつ、いかなる時に起きても、すぐに対応できる体制を作っておかなければならないことを改めて確認しました。2001年に大阪で起きた小学生殺傷事件からすでに20年以上が過ぎましたが、つねに学校での危機管理を怠らぬよう、気を引き締めたいと思います。



地域学校運営理事会

2月6日、今年度第3回の地域学校運営理事会を開催しました。今回は、学校評価についての議題を中心に行い、情報交換をしながらご意見等をいただきました。特に、生徒用タブレットの使用目的や使用の仕方などについては、建設的な意見をいただくことができました。また、今年度から始まった公立高校の特色選抜入試については、初めて挑戦した生徒の様子について不安なことなどがなかったか等、気にかけていただきました。いただいた意見を参考に、来年度の学校経営に活かしていきたいと思えます。なお、地域学校運営理事の任期が3年間であり、現在の理事のみなさんは、今年度末で任期満了となります。在任された期間はそれぞれ違いますが、花田理事長さんを始め、理事の皆様にはこれまでご協力いただき感謝申し上げます。



授業公開

2月7日は、今年度最後の授業公開日でした。当日は雪が降るあいにくの天候でしたが、多くの保護者のみなさんにお越しいただきました。特に1年生の授業は、今年度から始まった公立高校の特色選抜を含めた、入試に係わる学年全体での説明を行いました。生徒も保護者のみなさんも熱心に説明を聞いていました。保護者のみなさんにとっては、家庭で見る子どもさんの姿とは違う一面も見ることができたかもしれません。まもなく期末テスト（3年生は12日と13日、1、2年生は19日と20日）もありますので、生徒も真剣に授業に向かっていました。



同和問題学習

2月10日には、出雲市教育委員会より大前同和教育啓発指導員さんにお越しいただき、1年生で同和問題学習の授業を行いました。校区の小学校や地域の人権同和教育推進協議会の方にも参加していただきました。現在も残っている差別の現状を知り、差別のない社会に向けて主体的に行動しようとする態度を育てることをねらいとし、自分の誕生会に誘おうとした友達が、差別されている地区に住んでいるからと親が反対し、誘うことができなかったという、江口いとさんの詩を取り上げました。この授業のために、事前学習として、小学校で学んだ差別に関する歴史や出雲市で行われた人権問題に関する市民意識調査等のアンケート結果についても確認しました。生徒は真剣にこの問題と向き合いました。

